

薬剤ごとの違いがわかる

ステロイド 使い分け

の
S t e r o i d
豊富な薬剤情報と症例 C o n t e n t s

序

山本一彦

第1部 ステロイドの基礎知識

1. ステロイドを使うのはどんなときか	大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子	14
2. ステロイドの作用	清野敏一, 川合真一	17
3. ステロイドの種類と選び方	大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子	20
4. ステロイドの使い方 ～初期投与量, 減量・離脱, 維持量の考え方～	大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子	23
5. 相互作用	大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子	30
6. 副作用とその予防	大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子	33
7. 注意点	大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子	44

第2部 薬剤編

1. 経口剤	清野敏一, 川合真一						
総論	48						
各論	57						
1. フルドロコルチゾン酢酸エステル / 57	2. ブレドニゾロン / 59	3. メチルブレドニゾロン / 62	4. トリアムシノロン / 64	5. デキサメタゾン / 66	6. ベタメタゾン / 69	7. ヒドロコルチゾン / 73	8. コルチゾン酢酸エステル / 75

2. 注射剤	大野能之, 三森経世
総論	78
各論	83
1.ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム, ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム/83	83
2.ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム/85	85
3.デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム/87	87
4.トリアムシノロンアセトニド/89	89
5.プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム/91	91
6.メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム/93	93
3. ステロイド外用剤	大谷道輝, 古江増隆
総論	96
各論	127
1.ストロングス群/127	127
2.ベリーストロング群/129	129
3.ストロング群/135	135
4.ミディアム群/139	139
5.ウィーク群/141	141
4. 吸入ステロイド	長瀬幸恵, 桧 知行, 永田 真
総論	144
各論	155
1.フルチカゾンプロピオン酸エステル (FP) /155	155
2.ベクロメタゾンプロピオン酸エステル (BDP) /158	158
3.ブデソニド (BUD) /160	160
4.シクレソニド (CIC) /161	161
5. 鼻噴霧用薬	柳原良次, 増山敬祐
総論	165
各論	171
1.ベクロメタゾンプロピオン酸エステル液状製剤/171	171
2.ベクロメタゾンプロピオン酸エステル粉末製剤/172	172
3.フルチカゾンプロピオン酸エステル/174	174
4.モメタゾンフランカルボン酸エステル水和物/176	176
5.フルチカゾンフランカルボン酸エステル/177	177
6. 眼軟膏・点眼液	関根祐子, 高村悦子
総論	180
各論	190
1.ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム/190	190
2.ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム・フラジオマイシン硫酸塩配合/190	190
3.デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム/190	190
4.フルオロメトロン/191	191
5.メチルプレドニゾロン・フラジオマイシン硫酸塩配合/191	191
6.プレドニゾロン/191	191

第3部 疾患編

1. 膠原病	鈴木康夫	194
1. 全身性エリテマトーデス (SLE)		198
2. 関節リウマチ (RA)		204
3. 多発性筋炎/皮膚筋炎		208
4. 血管炎症候群		211
2. 血液疾患	西村純一, 柴山浩彦, 水木満佐央, 金倉 譲	215
1. 自己免疫性溶血性貧血 (AIHA)		215
2. 特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)		218
3. 悪性リンパ腫 (非ホジキンリンパ腫)		220
4. 多発性骨髄腫		225
5. 血球貪食症候群		228
6. 血栓性血小板減少性紫斑病		233
3. 腎疾患	野島美久	237
1. 微小変化型ネフローゼ症候群		237
2. 巢状糸球体硬化症		242
3. 膜性腎症		245
4. IgA腎症		249
5. 急速進行性糸球体腎炎 (RPGN)		252
4. 呼吸器疾患	山口正雄	257
1. 気管支喘息		257
2. 特発性間質性肺炎 (IIPs)		264
3. 膠原病随伴性間質性肺炎		268
4. 好酸球性肺炎		272
5. サルコイドーシス		276
5. 脳神経疾患	真崎勝久, 吉良潤一	279
1. 多発性硬化症 (MS)		279
2. 重症筋無力症 (MG)		283

Contents

3. 慢性炎症性脱髓性多発根ニューロパチー (CIDP)	287
4. 急性細菌性髄膜炎	290
5. 脳腫瘍、脳・脊髄への転移性腫瘍に対する症状緩和	293
6. 甲状腺疾患	久保田 憲 296
亜急性甲状腺炎	296
7. 消化管・肝胆脾	野中康一, 喜多宏人 300
1. 潰瘍性大腸炎 (UC)	300
2. クローン病	305
3. 自己免疫性肝炎 (AIH)	308
8. 皮膚科疾患	中川秀己 311
1. アトピー性皮膚炎	311
2. 莽麻疹	320
3. 虫刺症	322
4. 葉 疹	323
5. 自己免疫性水疱症 (天疱瘡と類天疱瘡)	327
6. 結節性紅斑	331
9. 眼科疾患	高瀬 博, 望月 學 333
1. ぶどう膜炎	333
2. 結膜炎	340
3. 特発性視神経炎	343
10. 耳鼻咽喉科疾患	國井直樹, 岡本美孝 346
1. 突発性難聴・急性感音難聴	346
2. 顔面神経麻痺	351
3. アレルギー性鼻炎	355
索引	
医薬品索引	358
事項索引	361